

【議題②】

本会では平成10年7月にドクターバンク（無料職業紹介所）を開設し、続いて平成19年4月にドクターショートサポートバンクを開設。医師の求人、求職の斡旋事業を無料でやっている。

当県の医師不足の状況を踏まえ、新潟県でも県外医師招聘事業（無料職業紹介）を実施しているが、本会ドクターバンクでは、医師会員・非会員また、県内・県外の方を問わず新潟県で就業をご希望の医師を対象に求職支援を行っている。

ドクターショートサポートバンクについては、新潟県から当事業を受託し、主に病院の宿日直や休日夜間診療所等に従事する医師の紹介支援等を行っており、短期間の地域医療を支援するシステムとなっている。

両事業とも希望条件にあった求人医療機関・求職者を本会職業紹介所にてご紹介し、雇用契約が成立するまで双方に対して相談・マッチング対応を行っている。退職後も働きたい方、休職後に復職したい方、地域医療に関心のある方等、女性医師に特化したものではなく幅広く対応している。

なお、女性医師支援事業で転職・復職に関する相談を受けた際は、本会ドクターバンク事業と併せて対応している。

このほか令和3年2月より、ドクターバンク事業として医業承継についても支援実施。こちらについては、閉院等で希望される会員から医療機関情報を会報等に掲載し、マッチングのみ実施している。

令和5年度当会事業における求人・求職状況は以下のとおり。

●ドクターバンク

- ・ 求人 有効登録数 93件（新規登録16件、取消11件）
- ・ 求職 有効登録数 24名（内 女性5名）（新規登録14名、取消9名）
- ・ 成立 12件（内 女性2名）（昨年比 +5件）

●ドクターショートサポートバンク

- ・ 支援要請医療機関登録数 21件
- ・ 支援医師登録数 15名（内 女性1名）
- ・ 成立 177件（昨年比 +31件）

【議題③】

- ・ タスク・シフト/シェア導入について

医師の働き方改革に向けた取り組みとして、各病院においては医師と看護師はじめ他の職種とのタスク・シフト/シェアが進められている。ただし、これらの取り組みは女性医師に限ったものではないと思われるが、子育て期間における短時間勤務や宿直免除のほか、短時間正規雇用を導入している病院もあると聞いている。

- ・男性育休について

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりを促進するために、男性の育児休業取得に対する助成金をご用意しているが、賃金労働時間等実態調査として県内の民間事業所を対象として行った調査では、2023年度（22年7月～23年6月）に1日以上育児休業を取得した男性の割合は前年度の27.7%から6.0ポイント増加し、33.7%と初めて3割を超えたとされている。

ただし、同調査では新潟県内の2900事業所を対象として、有効回答は1289事業所、回答率は44.4%とされているが、新潟県内には10万以上の事業所があることを考えると、全体が反映されているかには疑問があり、増加の気運があるとしても医療現場ではまだまだ少ないと思われる。

- ・シニアドクターの活躍について

当県が医師不足という事情もあるためか、これまで定年後に公的病院から民間病院や健診機関等で勤務する方などが多かったが、近年は公的病院でも定年延長により引き続き勤務する医師も増えていると思われる。